

# 被災地派遣レポート〈第107回〉

都市整備局都市づくり政策部開発企画課 山田伸幸さん

平成24年7月2日、私は釜石の地に降り立った。

7月といえども肌寒かった。(釜石の夏は、通常お盆前後の1週間程度とのこと。しかし今夏は異常に暑く、7月下旬から9月下旬まで猛暑が続いたのであった。)

まずは職場となる県合同庁舎に向かうため、釜石駅の一つ手前の小佐野駅で降りたのだが、そこにはこれが被災地なのかと思うほど、普通の市街地が広がっていた。

到着早々、被災地と復旧工事の現場を案内してもらうため、車で勤務先の合同庁舎から釜石の中心市街地方面に向かった。釜石駅を過ぎ甲子川に架かる橋を越えたところで様相が一変する。一見、空き地が多く、中心市街地が衰退した地方都市のような景色。しかし、それは違っていた。そこにあるのは、津波によって破壊された街の姿だった。

以前は、歩道にアーケードがあり中層の建物が建ち並び、賑わいを見せていた商店街の姿形は跡形もなくなっていた。瓦礫こそ撤去されていたが、建物の基礎がそのまま残されていた。その他にも、防潮堤の巨大なコンクリートの塊が、いとも簡単に破壊され転がっている様、津波で流され全てが消えてしまった街…

あまりの津波の威力の凄まじさに、しばらくの間は見るもの全てに唯々唾然とするばかりだった。

派遣された者の誰しものが最初に思うことだが、こんな壊滅的な被害を受けた街の道路の1つや2つを復旧することが何の役に立つのか？私のすることに果たして意味があるのか？…正直そう思った。

しかし、いろいろな人の話を聞いたり、被災地の状況が徐々に分かるようになって考えが変わった。道路がなければ何も始まらない。日常生活も送れなければ、復興も行えない。道路はまさに人々の生命線だったのだ。

とにかく無駄なく、迅速に復旧工事が完成するよう私なりに現実と向き合った。

私が担当したのは、道路復旧工事が4件、橋梁復旧工事が1件、街路灯設置工事が1件であった。現場経験の浅い私であったが、先に派遣されている都の先輩職員、県の担当職員の皆さんに懇切丁寧な指導を仰ぎ、何とか役割をこなした。

また、施工業者の方には、猛暑の中、自身も被災している身でありながら、厳しい施工スケジュールにも無理を言って対応していただいた。



津波の被害を受けた被災地（大槌町）



津波で倒壊した防波堤（山田町）



地震で崩壊した道路

派遣期間中はほぼ毎日、昼間は現場に出向き、施工状況をチェックしたり様々な問題に対応したりし、夜は事務的な作業をこなすという日々を送った。忙しいながらも充実した時間を過ごすことができた。

緑豊かな山奥にある工事現場では、時折シカやクマ、カモシカなど東京では決して道端で見ることのない動物に出会えたことも印象に残っている。

我々派遣者が起居するのは、市街地から離れ山と川に囲まれた場所にある仮設住宅であった。住宅の造りは粗雑だが、そんなことは問題ではない。雨露が凌げるだけで幸せである。生活に必要な資器材も一通り揃っており、そこでの生活は非常に恵まれたものであった。

普段から自炊することに慣れている私にとっては、特に不自由なこともなく、このような恵まれた環境で過ごせることに感謝するとともに、前任の方々が過ごした環境が決して快適なものではなかったことを思うと恐縮する思いだった。

派遣中、それほど大きな余震には見舞われなかったが、仮設住宅にいる時は、余震の前兆として、真下を地下鉄が走っているような地響きのような音がして、若干恐怖を覚えた。(この現象は仮設住宅の構造によるものらしい。)

業務以外の場でも、色々な経験をさせてもらった。土木部総出での道路清掃、トライアスロン会場となる根浜海岸の炎天下での草刈、懇親会(お酒)の数々。

また、私自身これまで三陸海岸は訪れたことがなかったが、休みの時間を使って三陸の美しい風景を楽しむこともできた。(被災前のもっと美しかった景色を知らないのが残念であるが…)

派遣期間を通じて、県職員の方々をはじめ、多くの地元の人に公私共に支えられ業務にあたることができたことに何より感謝をしたい。それにもかかわらず、我々が遠く離れた東京から釜石まで応援に来てくれていることに対して、非常に感謝していただいていることに感銘を受けた。

釜石で憩意になった方との交流は今も続いている。今後も交流を持ちつつながら、釜石の復興を見届けていきたい。

最後に…。

今からでも決して遅くはない。一人でも多くの人に被災地を見てもらいたい。そこで何かを必ず感じ取るはずである。そしてそれが、東京のひいては日本の防災対策に関心を寄せる大きな動機付けになると私は確信する。



街なかに現れたカモシカ(円内)



起居の場となった仮設住宅



東京班のメンバー



お世話になった釜石の方々(ほんの一部)